

ベトナムの美術館設計を受託へ

ライト設計

建築設計業の㈱ライト設計（熊本市中央区京町本丁、今坂晋典社長）はこのほど、ベトナムのダナン市が建設する「ホアン・サー美術館」の設計業務を受託した。

同社は昨年11月、同美術館の国際建築設計コンペに応募。応募43作品の中から1次審査で3社に絞られ、ネット上での人気投票を経て最優秀作品として特定された。美術館にはダナン市に属する「西沙諸島」の領有に関する歴史資料や工芸品などが展示される。鉄筋コンクリート造り4階建て、延べ床面積約

840㎡で、今年9月に一部が着工予定という。今回の設計は1年前に熊本大学からインターンシップで派遣され、この4月に入社したグエン・クアンさん（ベトナム出身）らが担当する。

今坂社長は「建物の美しさやデザインなどが海外で高く評価され、大変うれしく非常に価値のある仕事だと思う。今回の受託を足がかりに、これまで実績のある中国をはじめとした海外での設計業務を増やしていきたい」と話している。同社は1981年創業で年商は約2億円。



▲左からクアンさん、今坂社長、水上文藝副社長



▲美術館の完成予想図。建物外観には巨大なベトナムの国旗を設け、夜間はライトアップで国旗が灯台のように浮かび上がる